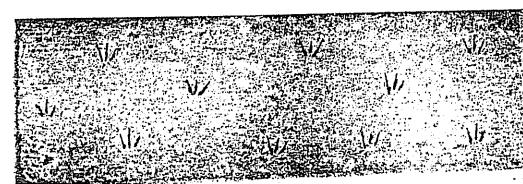
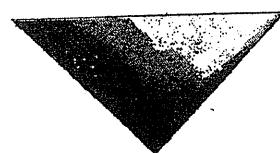
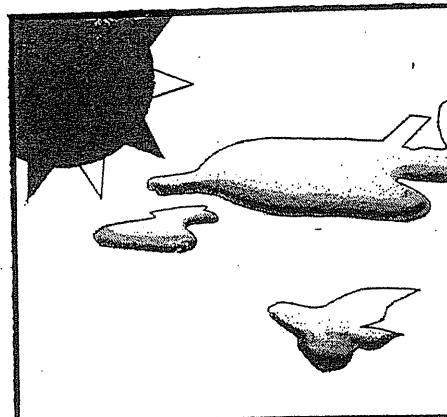


# 卷一

## 一周年記念特別号



— 特 集 —

1. 脳性マヒの理解の為に
  2. 私達の生活記録
  3. 海に向うの脳性マヒ者から—アメリカの資料から—

十四日のテレビ拝見いたしました。皆様それぞれはり切つていらつしやる御様子うれしく思います。

私は、東京新宿にある国立身体障害者更生指導所に、一年三ヶ月おいていたとき家に帰つてもう三年近くになりますが、以前は、そこまでいくにも、姉の背をかりたのですが、別に治療を受けたのではありませんけれど、訓練と度胸で、あぶなつかしいながら、杖もなく歩いています。歩くということをやく立て、商家であることを幸いに、使いや配達にはり切つて居ります。店番や、それらの事を通じて言語障害の方も少しづつ克服出来そうで胸ふくらしている所です。

一方、女性としての台所の方も、東京で憶えて来たアミモノと、欲ばつているので、とてもいそがしく、朝九時頃から夜遅くまで居ります。そのため、書くこと、いうことです。にえん近く、やつとの思いで入会のお願いの手紙を書きました。

私は北多摩の補導所で教わりました編物をやつて居ります。来る日も来る日も編物に明けて編物にくれるというような、平凡な毎日を送つて居ります。おかげを持ちまして仕事も無くして困るという様なことは全然有りません。私は四肢が悪いために外に出る事は余りありません。出るとしても一ヶ月に一回位です。

上肢が障害のために仕事をするにも時間がかゝりますが、何とかやつて居ります。(中略) 遠地に居りますが、今後共よろしくお願ひ致します。

皆々様によろしく御伝え下さい。最後に皆様の健勝であられる事を御祈り致しましてベンをおきます。

○ 「君、この原稿十八字づつに切つて、行を数えてくれよ」

「ところで、トップ記事はどれにしようか」

「そうだな、寄附の御札にするか」

ヒ  
~~~ 現代のように戯具が発達しても、一寸した物で野趣のある訓練器具を御作りになるのも面白いと存じます。

竹の一節をバイブより、やゝ長目に御切りになりまして、その先三分の一程を八つ位に切込んで開いて置きます。庭の片角にでもあります丹波ほゞきの種を抜いて、竹の先に載せて下から吹く。唯それだけの玩具ですけれど、吹き具合によりので、呼吸・吹く吸うに関係します。こんな一寸した、たとえばコップの水に氷を浮せば零さないとか。皆様のヒントを御知らせ下さい。

「おい、この夏は十行ばかりくそ」「それぢや、これを入れたらどうだ」「こゝには何を入れようか」「一体、あと何が残つてるんだ」「え」と、それは何行あるんだ」「〇〇行、それに見出しがつく」「それぢや、丁度入るな、うまい／＼以下、ワイ／＼がや／＼…………いつも乍らの編集風景の一コマである。秋風にのせて、こゝに機関誌第四号を送る。創刊以来順調な発行。喜びにたえない。

◎

お便りから

青芝の皆様へ

私の生活

原口勝之

ント

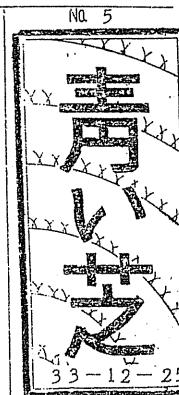
竹の事は竹に習え

たしか、これは藤村の言葉だ  
たと思ひます。

1

祝 発会一週年  
山甲製作所  
取締役社長 望月猛

東京都大田区雪ヶ谷町579番地  
電話荏原(78)1521番



発行所 大田区雪ヶ谷七五二一 青い芝の会  
(山北方)  
印刷所 大田区調布嶺町二丁目三一  
更正社 タイプライター・オフィス  
編集責任者 尾堀元英

一周年記念大会

十一月二日、午後一時半から朝日新聞社の講堂で本会の発足一周年の大会が朝日新聞社厚生事業文化団の後援で開かれました。尚、それに先立つて本会親会の臨時総会が同じ所において催されました。

さて、本会の大会は草場さんの司会により進められた。まず、塩谷氏が開会の辞を述べ、引続き小生(金沢)が一年間の経過報告を行つた。それから、山口氏が議長に立つて会則改正、役員改選の議事に入つた。その結果、会則改正は新役員一任ということになり、又役員改選については議長一任ということになつて、別項の如く一四人の新役員が選ばれた。

議事がすむと来賓として本会顧問の松本保平先生、山本浩先生、親会代表の高山氏、それに「東雲」代表の石橋氏が壇上に立つて、夫々所感や激励のことば等述べられた。そして、最後に和田氏が今後の抱負を述べて才一部を終り、引続いてすぐ才二

部に入り、朝日ニュース、マンガ、ソ連映画「ボリショイ・イーサーカス」を上映して四時ごろ散会した。

当日、天候がすぐれないにもかゝわらず、会員父兄来賀合せて一五〇名程集つた。そして、正面の上には新聞社で用意して下さった「青い芝の会一周年記念総会」と書かれた大きな吊看板。昨年の一月三日大田区の一保育園で本会がココの声をあげた時集つたのは四〇名程だった。それが一年間でずい分大きくなつた。それから一年間でずい分大きくなつてしまつたものだ。

発足一周年を経て、たしかに本会のもう一つ意義は小さくはないであろう。そして今後会員一人々々の会として、ますます充実させ、発展させていかねばならない。

我々が大会をもつている同じ屋根の下で新聞社の輪転機は世界の動きや、社会の出来事を伝えて忙しく廻つていた。

高木憲次先生から  
お祝いの言葉

上記一周年記念大会を催す前日  
「一周年おめでとう、会のみなさんによろしく」

と、いう高木先生からの伝言が、事務所の方へ電話で伝えられました。

祝 発会一週年  
東金信用調布

本店 東京都大田区田園調布1丁目10番地  
支店 長原・千鳥町・大森・碑文谷



一周年記念も無事に終り、まずはこの一年間大過なく会長をやつて来られた事にはつとしたのも束の間、役員会で再び私に選出されてしましました。私自身、本当は私なんかよりもっと適任な人に会長の職をバトン・タッチをしたいと思つていたのですが……これ以上やつているとマンネリズムになつてくるのではないかと心配なのです。ですがこうして選ばれてしまいました以上は、会の発展のため、又、会員諸氏のため極力この会も思いがけない程に大きくなつて来ましたが、それだけに色々の問題が出て来ました。

努めているつもりです。

この会も思いがけない程に大きくなつて来ましたが、それだけに色々の問題が出て来ました。

次にその幾つかをこゝに取上げてそれに対する私見をいざゝか述べさせて頂きます。

まず、役員が会員から選出しているといふ批判が出て来た事です。こんな事にならぬよう発会した時から十分気をつけたのですが、心配していた事が事実になつてしまつたことを深く反省しています。云い訳めますが、こうなつたのも会が大きくなつたのに会則にしばられていたのです。役員が会員から選出されるなり、前もつて手紙で提出して下さいて頂きたいのです。

そして、折角提案されたことが否決されることもあるという事を、承知しておいて頂きたいのです。

この「青い芝」の会には種々雑多な思想、宗教、利害関係を持つ人が集つてゐる故に、それがあまりにも一部の人たちだけに歓迎されるようなことは、会として採り上げるわけには行かないのです。

ところで、日本人に多くある悪いくせで大局的には同じ目的であるのに、自分の意見が入れられないかつたというような脱会などといふことのないようお願いします。

以上、色々のことを書きましたが、結局は何もかも皆様の御協力がなければ出来ないのでですから、よろしく御協力の程をお願いする次第です。

会員諸氏と役員との交りも大くなると思います。そして、会員も多くなり個所に集合する事がむずかしいので地区別に例会を開き、又、出歩く事の出来ない人の所へ近くの会員数人が寄り集つておしゃべりするようにする方法とか、遠い所にいる会員にはベンフレンド・システムによる会員相互の親睦を計る方法とかを考えています。

一体この会は子供のための会なのであります。たしかに今まで役員がジニクのための事(更正的な意味の)をやらなければいけない声があります。たしかに今まで役員がジニクの事ばかり気をとられていた感がありましめた。しかしこの度部門に分けそれを夫々分担する事にし、その一つとして更生部を設けましたので今後に御期待願えると思います。ですがそうは云いましても、何時も申して居りますように、更正部を作つたとてすぐにつきりとした更生事業と云えるような事が出来るとは思えません。その点を皆様によく承知して頂きたいのです。

この会はマス・コミにのりすぎるからいやだ」という声。この一年おつしやられようによくマス・コミにのりました。

しかし、私達役員はマス・コミにのらんりません。たゞ会でやつて来た事が偶然に生まれたのであります。ところで大分以前の事、大新聞のY紙が「脳性マヒの大半は精薄又は気持ちがいい云々」という事を書いていましたが、このような我々に対する間違った社会的観念を正して行くには、やはりマス・コミの力を利用した方が効果的なのではないでしょうか。が、だからと云つて、ジャーナリズムの目を引くようにならなければなりません。たゞ会では大きな問題は起りません。それは、会員の方(役員も含めて)が会員の事を正しく理解してもらえるように特別な事をすることは今後も決してしません。

それから述べるような事で、幸いにしてそれについて述べさせて頂きます。それは、会員の方(役員も含めて)が会員のためには良い事だからと云つて自己判断だけで事を運んでしまわず、一応その事を役員会にかけてから事を運んで頂きたいという事です。このような官僚主義的な事は私自身大嫌いなのですが、良い事だからと云つて方々で勝手に事を起されたのでは会の運営上はなはだ困る訳なのです。

云つて、ジャーナリズムの目を引くようにならなければなりません。たゞ会でやつて来た事が偶然に生まれたのであります。ところで大分以前の事、大新聞のY紙が「脳性マヒの大半は精薄又は気持ちがいい云々」という事を書いていましたが、この会を通じて脳性マヒ者といふものをして顶きたいのです。

そのため、他の会などでも時々起る問題なので、会を運営して行く者の一人としてそれについて述べさせて頂きます。

これは、会員の方(役員も含めて)が会員のためには良い事だからと云つて自己判断だけで事を運んでしまわず、一応その事を役員会にかけてから事を運んで頂きたいという事です。このような官僚主義的な事は私自身大嫌いなのですが、良い事だからと云つて方々で勝手に事を起されたのでは会の運営上はなはだ困る訳なのです。

です。それで、今度から毎月その日の最終日曜に定例役員会を開くことになります。

したたら、みな様から提案なさりたいことがありましたら、直接そこへお出にいらぬよう発会した時から十分気をつけたのですが、心配していた事が事実になつてしまつたことを深く反省しています。云い訳めますが、こうなつたのも会が大きくなつたのに会則にしばられていたのです。役員が会員から選出されるなり、前もつて手紙で提出して下さいて頂きたいのです。

この「青い芝」の会には種々雑多な思想、宗教、利害関係を持つ人が集つてゐる故に、それがあまりにも一部の人たちだけに歓迎されるようなことは、会として採り上げるわけには行かないのです。

ところで、日本人に多くある悪いくせで大局的には同じ目的であるのに、自分の意見が入れられないかつたというような脱会などで仲間割れすることがよくあります。

以上、色々のことを書きましたが、結局は何もかも皆様の御協力がなければ出来ないのでですから、よろしく御協力の程をお願いする次第です。

## 新役員決定

|      |             |             |             |             |                   |             |             |             |             |             |             |             |             |               |             |                 |             |             |             |             |             |             |     |
|------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---------------|-------------|-----------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----|
| 山    | 塩           | 高           | 森           | 柳           | 和                 | 尾           | 能           | 鈴           | 草           | 白           | 村           | 上           | 裕           | 信             | 木           | 大               | 田           | 下           | 山           | 北           | 厚           |             |     |
| (会長) | 大田区雪ヶ谷町七五二  | TEL(78)五〇九四 | 練馬区中村町三ノ五八八 | 田代方         | TEL(99)三〇九五(教養兼務) | (副会長)       | 大田区中村町三ノ五八八 | 大田区田園調布二ノ六六 | (更正兼務)      | (会計)        | 大田区調布千鳥町六四九 | TEL(75)〇六五三 | (会員)        | 大田区赤坂青山南町五ノ七六 | TEL(40)三五三七 | 大田区赤坂青山南町五ノ五九一三 | 高井方         | 大田区山王一ノ二六五四 | 金崎方         | 北区滝の川三ノ七四   | TEL(40)三三四四 | 大田区山王一ノ二六五四 | 金崎方 |
| (秘書) | TEL(78)五〇九四 | TEL(99)三〇九五 | TEL(78)五〇九四 | TEL(75)〇六五三 | TEL(40)三五三七       | TEL(40)三五三七 | TEL(40)三五三七 | TEL(40)三五三七 | TEL(40)三五三七 | TEL(40)三五三七 | TEL(40)三五三七 | TEL(40)三五三七 | TEL(40)三五三七 | TEL(40)三五三七   | TEL(40)三五三七 | TEL(40)三五三七     | TEL(40)三五三七 | TEL(40)三五三七 | TEL(40)三五三七 | TEL(40)三五三七 | TEL(40)三五三七 |             |     |

## 親睦会

今日、大田区、品川、目黒の例会をしましたが、いつもと違つて固苦しい事は金然なく、青い芝のために若い芸術の友情リレー慈善事業の知せと、会員の村上さん宅で編物の講習を開くとの知せの後、ダーリングを開催洗濯屋さんの吉倉君の水と泡にまみれての体けん談を皮切りに沼田君のラジオを開く話から、草場に放送局を中心に、電波は乱れとび、音楽の事、英語の話etc etc つくる所をしらず、幕

整肢療護園で言語指導をしていられる田口先生の研究によると、六四名の脳性マスク児を対象として、言語の了解可能度を調査したところ、言語障害のない正常な

前に脳性マヒは单一の原因による单一の病気ではなく、いわば似たような症状をもつたものゝ寄り合の世帯についた呼んで名をあらうと書いたのが、歎生マヒの病型

やその障害程度は人々皆違ひ、文字通り万人万様である。即ち、障害の程度については、身の廻りの世話を一切他人にしてもらわなければならぬ重度の者から、健常者と大して変わらないごく軽い者までいる。そして、脳性マヒ者の半数は中等度の障害で、あと $\frac{1}{4}$ づつが軽度及び重度の者であるという。

病型については概括的に分類して梗概型アテローゼ型が一番多く、その他三

つ型に分けられるか、人々によって  
てみれば、皆その症状を異にして、その特  
型の正確な診断は複雑で、且つ高度に専  
門的であるという。しかし、一応夫々の  
型の共通的な症状を記してみれば（J  
S・クラーク著「歐米福祉国家の身体障  
害者」参考）痙直型は随意運動を抑制  
することが困難であり、筋が硬つてい  
思うように手や足を曲げることが出来  
ない。そして、この型はまた変形を来  
易い。即ち、普通の身体では手足を伸ば  
したり、曲げたりする筋はこれを曲げな  
り伸ばしたりする筋と釣合がとれるが、

西田ヶ谷の幅

金  
文  
考

青い芝の会の一つの事業として桜の木を開く頃より世田ヶ谷区世田ヶ谷に青い芝の塾を関東労災病院の伊藤京逸先生の自宅の続きの剣道場の二階の二室で、同病院の児童を集め子供達七名で、指導員山北会長以下数人が御世話して見る事になつた。会が出来た時、三ヶ月程で立消してしまつだらうと関係者の中で話されて居た様だつたが、そんな事はともかく、青い芝の会の塾は毎週の水曜、土曜で一時より三時まで身体に応じる機能訓練を始め、児童に学べるという自信をつける為に一ヶ月半ぐらいの塾の場所になれて行く期間を通じて家庭での訓練から集団的な生活が初めるに至る。児童は積木をつかみ、絵本を友達と見て耳を片向けて熱心に聞く。そして小さな声からしつかりした聲音に変つて来た。塾に来る事が楽しくなつて、耳童心理の上にも大きな安定を感じて来た。そこで小学校一年生の教室を国語と算数をつかつて教える事にして見た。尚教科書で学ぶ時間には二入づつ一組になつて、身体の状態から三クラスとして勉強を始めた。三十分以内で一科目を終る様にしている。十五分以内の休みをもつが、遊びの状態も見ていく。次の時間には絵を画用紙にクレオーンする。次に絵を画用紙にクレオーンする。

導いて頂けて、児童は勿論指導員の我々までが楽しくなる。この様にして水曜、土曜の午後二時間を見童と共に生活している。一ヶ月に一度、伊藤先生の御診察をしていたるに、児童一人々々の訓練方法を教えて下さる。初夏の頃梅ヶ丘駅（小田急電鉄）の近くの羽根本公園に足にも行つた。団体的な野外訓練に樂しさは一層児童の胸を明るくした。

塾では七月下旬まで日中の暑さにまげず、水曜、土曜の二日間をがんばり続けたが、八月一杯は水曜だけ出てくる事にして、児童の親睦会をしたり、八月十一日には朝の内渋谷の映画館に白雪姫を児童と付そい、そして指導員等と一緒に行く。八月十三日の朝には、役員二人が関東労災病院に行き伊藤先生を訪ねて、今秋から世田ヶ谷塾に児童をふやすことをお聞きをして。九月から田園調布の教会を借りて塾を開く事も連絡する。

水曜の八月二十日には、塾の様子を婦人朝日編集の方が写真の方と来訪がある塾の記事が十月号に取り上げられた。八月廿七日水曜には指導員が児童六名に、まことさんの話をしていると、職安の方と国際リスト教率仕団の幹部の方と来

一月まで良いシーズンで世田谷塾の児童に学ぶ事や身体訓練をしようと話し、賛助会員三名が来ててくれる。男児の新入生も来て積木の指先訓練や歩行練習をもする。九月十日には兄弟塾が大田区の田園調布に出来た事を、その責任指導員から伝えられる。中旬の土曜には児童の身体に応じた訓練。五名に身体部分運動をもした。又水曜には台風で揃いの雨であつたが、熱心に二名の児童が来た。エスベロ会の指導員の話や、子供達はカスタネットを指つて歌に調子を取つて習う。二十日の土曜には国語の教科書で児童が学んで居ると、日本テレビの報道部の方三人が来て、九月廿三日の暮しの政治の時間に、塾を取り上げ勉強の所、或いは円形に座し、マリ送り等をフィルムに収められる。同じ日に世田ヶ谷の肢体不自由児の親の会からの紹介で、新しく男子三人が入塾して来た。九月廿七日には、四月生も最近入った九月生も一緒にクレオンド絵を画用紙にえがいて見させる。乗物の絵が多い、良く気が付いて現わしていた。次の時間には新しい三人の友に指先で色紙を切り、画用紙に貼がみを指

痙直型においては縮まる筋がこれに拮抗する筋より緊張しているので、それを治療しないでおくと、そこがだんだん不恰好になる。又速やかに動くことが出来ないのも此筋の不釣合のためにある。

アテートーゼ型は無意識の行動をつかさどる脳の部分に障害があり、その結果手足が絶え間なく動き、頭が左右に動き、顔は歪む。物を拾おうとしても手がそれにとどくが、他の方に向くか分らない。

失調型は身体の均衡を保持することが難しく、酒に酔つたようにふらふらする。

又何物を見つめると目まいがし、距離の判断が出来ず方向も分らない。更に歩み、手の差出し具合、時として舌の動かし方も思うようになって来る。そして、この型の者はよくころぶ。尚、フェルブス博士によると、失調型の者は目的ある運動を命じようとしなければ、申し分なく落着いたもので正常に見えるという。

以上の他に、筋が硬つて全く動かないと強剛型や、絶え間なく身体が律動的にふるえる型がある。

それから、次に留される身体の部位についても各ケースによつて一様ではなく四肢（両上・下肢）とともにマヒする四肢マヒ、両下肢だけがマヒする両下肢マヒ片方の上肢と下肢がマヒする片側マヒ、その他の場合がある。又、脳性マヒは四肢だけでなく、その他の機能にも障害を来たすが、その一つに言語障害があり、

整肢療護園で言語指導をしていられる田口先生の研究によると、六四名の脳性マヒ児を対象として、言語の了解可能度を調査したところ、言語障害のない正常なものには僅かに七・八%であったといふ。即ち、脳性マヒ者の大部分は吃つたり、はつきりした発音が出来なかつたりする。そして又或る者は絶えずよだれをたらしめてゐるのである。といふのは、脳性マヒ者はしゃべるのに必要である吸うはく、噛む、舌を動かす等の事がうまく出来ず、又よだれをたらすのは、それをのみこむ事が難しいからである。尚、言語の他の障害としては、聽覚障害のある者がフエルプス博士によればアテーイゼ型の約二〇%、脳性マヒ者全體としては約八五%いると云われ、又視覚障害としては約五〇%が斜視である。それからテンカン発作の既往歴をもつ者が、バールスタン博士によると痙攣型の約五〇%、アテーイゼ型の約一五%にみられるといふ。



☆☆ サイクリング

とだ たけお

じてんしやの ベタルをあめば  
たのしいな  
ぼくたちのサイクリングは  
こどもじてんしやで しゅつぱつだ  
ぼくもわたしも ゆーこうよ  
ハンドルにぎれば  
やまもたちまち うしろだよ  
じてんしやは ぼくたちの  
あんよでベタルをあめば  
たあまちうみ なんか うしろだいくよ  
ぼくたちの じてんしやは、  
はやいなあ  
みんな そろつて はーやいな  
ぼくたちの じてんしやは  
あるくなつて こわれたら  
さつそくなおぞう みんなして  
なおつたら また しゆつぱつだ  
ながい ながい トンネルも  
たちまち これじやぬけだすよ

三三一、十一月廿九日

チューインガム

寺田 純一

四月すえのある夕方、ぼくはそれまでほとんど来たことのない通りを歩いていた。その時行手の方であそんでいた、五つぐらいの男の子と、もう少し小さな女の子が「これあげる」と云つて、可愛らしい手をぼくの前につき出した。見るとチューインガムをにぎつている。ぼくはいさゝかどきどきしたが、「いゝよいらないよ」と答えた。子供たちは、けんぞうに顔を見あわせて行つてしまつた。ぼくは何だかおかしくてふき出しそうになつたが、後で考へて見る時の受取つておくべきだつたかも知れない。彼等がなぜぼくにガムをくれようとしたのか知らない。然し小さな子供の好意をむげにはねつけて無邪気な心をきづつけられるような結果になつたのではあるまい。いつしゆの劣等感からぼくは自分から外にたいして心をとざしていたのだ。

自分にはそんなひねくれた気持はないつもりだつたが、よく考へて見るとなつかれがあつたに違ひない。だから彼等が、ガムをあけると云つた時うそきみ悪く思つたのだ。もちろんあまり意外で、おつけにとられたせいかどうもある。小さな子供の中にはぼくを見てこわがるのもたまにはいるし、ふしぎそらにジロジ

口ながめたり、おもしろがつてはやしたてるのがかなりいるのだから。だが、いずれにしても、子供の無邪氣な親切にしりこみするような「とざされた心」は持ちたくないものだ。

編集後記

◎初冬の日さしの中に青い芝オ五号をおくる。編集会議とよべるかどうか、ともかく会長宅に集まつてガヤガヤ……原稿とオカシと手を出す回数は半々、八頁の頁を合理的に、且つ芸術的に配合しようと、ない頭をしほつてやりなおすこと数回、何とか意見が一致して表を見るとなつたが、後で考へて見る時の受取つておくべきだつたかも知れない。(O)彼等がなぜぼくにガムをくれようとしたのか知らない。然し小さな子供の好意をむげにはねつけて無邪気な心をきづつけられるような結果になつたのではあるまい。いつしゆの劣等感からぼくは自分から外にたいして心をとざしていたのだ。

◎十月から青い芝に入っていたいたがまだ何が何だかさつぱり分らず、考へたり教えられたりしながら、始めて編集会に出る時は、都合で遅くなつてしまい暗い道をたずねたずね山北君の家をやつとさがした。ほつとしたとたん編集後記を書いて下さいとのことで、目を白黒しなければならない。こんなことでは編集後記にもならない。(H.S)